



「民泊新法」有効活用で 宿泊型観光にシフトを!

無所属の会 市民の力 ● 奥村 幹郎 議員

滞在型観光政策を

問 近年、観光入れ込み客数は、独自また広域での観光集客が成果を上げている。本年6月施行された住宅宿泊事業法(民泊新法)を体験提案・宿場町宿泊・農家体験など滞在型観光目的での有効活用に取り入れてはどうか。

答 地域活性化策・空き家対策としての民泊新法をどの様に捉えられているか。

問 民泊サービスの普及促進は空き家対策の手法のひとつである。民泊ニーズを把握しながら、研究をしていきたい。

答 県道4号三雲西交差点渋滞対策は

問 県道4号起点による渋滞発生により、通過車両が、市道旧東海道線・山手の住宅街まで入ってきて狭小な生活道路は益々危険度を増しており、県への要

望を進めるべきでは。

答 事業化には地元の協力が不可欠と考えます。



三雲西交差点付近

問 湖南市発注の建設工事について

答 市が発注する建設工事について、事業資金の地域循環また市内業者の育成も重要な役割でもある。「発注者(市)良し・受注者(市内業者)良し・市民良し」の三方よしの精神で事業を進めるべきでは。

問 近年、大型工事で市外に本社のある業者が落札した経緯があるが、基本的には市内業者中心に進めています。

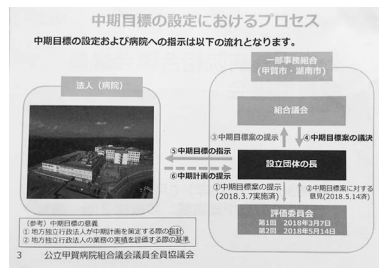
公立甲賀病院組合議会

桑原田美知子

議員全員協議会

平成30年6月29日午後2時から、公立甲賀病院診療棟2階講堂において、議員全員協議会が開催されました。事務局長から、「地方独立行政法人法一部改正及び評価委員会規則制定について」と「地方独立行政法人公立甲賀病院中期目標(案)」について説明がありました。

なお、公立甲賀病院組合は、平成31年4月の公立甲賀病院の地方独立行政法人化を目指し、準備を進めています。今回、本病院組合としては、法人がすべき業務運営に関する目標(中期目標)を策定しており、その中期目標(案)について、パブリックコメントにより広く住民の皆さんからご意見を募集いたします。



中期目標の設定におけるプロセス

甲賀広域行政組合議会臨時会

加藤貞一郎

平成30年6月29日、午前9時30分から消防本部屋内訓練場において、平成30年第2回甲賀広域行政組合議会臨時会が開催され、組合管理者から「財産の取得について」議会の議決を求め、一議案が提案されました。

その提案理由は、消防車両更新計画に基づき、湖南中央消防署配備のはしご付消防自動車を更新するための内容であり、平成30年6月8日に執行された指名競争入札の結果、(株)齊藤ポンプ工業が2億7360万円で落札した契約内容を締結するものであり、全員賛成で可決され閉会しました。



はしご付消防自動車(イメージ写真)

その後、引き続き議員全員協議会が開催され、甲賀広域行政組合衛生センター第2施設(こみ処理施設)整備計画を慎重に進めるため、今後の年次別事業計画や財源確保等の考え方について概要説明を受けました。